

令和8年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立鹿本小学校

校長名 奥村 孝史

名称:こじかタイム

| | |
|----------------|--|
| 学校の教育目標 | ○かみがえる子 ○やさしい子 ○たくましい子 鹿本の子 「しなやかに・たくましく」 |
|----------------|--|

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 人や社会的な事柄、自然など、あらゆるものに関わり合う中で、自ら考え、解決し、実践できる子を育てる。
- 2 自ら課題を設定する力を育てる。
- 3 情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することを通して、よりよく問題を解決する力を育てる。
- 4 主体的・協働的に取り組む力を育てる。
- 5 活動全体を通して、自己の生き方を考える力を育てる。

育てようとする資質や能力及び態度（兼 評価規準）

| 知識及び技能 | |
|--|---|
| 第3・4学年 | 第5・6学年 |
| ・情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。 | ・情報を比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。 |
| 思考力・判断力・表現力等 | |
| 第3・4学年 | 第5・6学年 |
| ・自分の関心から地域についての課題を設定し、解決方法を考えて追究している。《A課題の設定》 ・目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めている。《B情報の収集》 ・問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見付けている。《C整理・分析》 ・相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。《Dまとめ・表現》 | ・地域の人々等の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しを持って追究している。《A課題の設定》 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。《B情報の収集》 ・視点を明確にして問題状況における事実や関係と、整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見付けている。《C整理・分析》 ・相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現している。《Dまとめ・表現》 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | |
| 第3・4学年 | 第5・6学年 |
| ・課題の解決に向け、目的意識をもって意欲的に取り組み、友達と力を合わせて探究活動に取り組んでいる。《A主体性・協働性》 ・自他の意見や考えの違いに気付き、それを受け入れようとする。《B他者理解》 ・自分と地域とのつながりに気付き、地域の活動に参加しようとしている。《C社会参画》 | ・課題の解決に向けて、課題意識をもち、自分なりの方法を工夫しながら友達や地域の人と協働して、粘り強く探究活動に取り組んでいく。《A主体性・協働性》 ・異なる意見や他者の考えを受け入れ、そのよさを生かそうとする。《B他者理解》 ・探究活動を通して、自分の実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとしている。《C社会参画》 |

| 内容 | 学習対象 例【探究課題】 | 学習事項 例 |
|------|--|--|
| 第3学年 | ・地域の文化や伝統とその継承に力を注ぐ人々【伝統文化】 ・町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織【町づくり】 ・オリンピック、パラリンピックに携わる人々【国際理解】 ・生命現象の神秘や不思議さ【生命】 | ・地域の文化や伝統のもつ特徴(地域の祭り・昔の学校) ・小松菜栽培の歴史や継承に力を注ぐ人々の思い(江戸川区の特産品) ・オリンピック、パラリンピックに携わる人々の工夫と努力(オリンピック、パラリンピック) ・カイクを育てる活動(カイク博士) |
| 第4学年 | ・防災・防犯のための安全な町づくりとその取り組み【防災】 ・安心・安全なまちづくりへの地域の取り組みと支援する人々【安全】 ・身の回り的高齢者や障害をもつ人々の暮らしを支援する仕組みや人々【福祉】 | ・地域の安全・安心に対する取り組みと自分自身の危険回避に対する意識(水害・地震から身を守る) ・特別支援学校に通う人や暮らしを支援する人の工夫と努力(SDGs) |
| 第5学年 | ・身近な自然環境とそこに起きている環境問題【環境】 ・地域に暮らす外国人とその人たちが大切にしている文化や価値観【国際理解】 ・情報モラルについて理解【情報】 | ・環境問題と自分たちの生活との関わり(SDGs)(セカンドスクール・農業・自動車産業) ・国際的に活躍する人から学ぶ(国際理解) ・SNS等の使い方や注意点を学ぶ |
| 第6学年 | ・実社会で働く機関や人々の姿と自己の将来【キャリア】 ・地域の再生に向けて努力する人々と地域社会【地域経済】 ・情報モラルについて理解【情報】 | ・自分の成長を確かめるとともに、将来への抱負や希望をもつ。(将来の夢)(移動教室) ・地域をよりよくしようとする人々の工夫と努力(仕事・働く)(移動教室) ・SNS等の使い方や注意点を学ぶ |

| 学習活動 | 指導方法 | 指導体制 | 学習の評価 |
|---|---|---|--|
| ・学習対象例をもとに、単元は各学年学級で開発する。年間基本1、2テーマ(探究課題)、2～3小単元程度として、23時間行う。 | ・児童の思いや願いを引き出す発問の工夫 ・個に応じた指導の工夫 ・協働的な学習活動の充実 ・教科等横断的な学習の推進 | ・学年合同による支援体制(TT)の日常化と確立 ・地域・保護者による教育力の効果的な運用 | ・観点別学習状況を把握するための評価規準の設定 ・ポートフォリオを活用した評価の充実 ・学期末、学年末における指導計画の評価 |